

報 道 資 料

平成20年2月14日(木)

件 名 市長の上京について

概 要 このことについて、防衛省及び外務省を訪問したので下記のとおりお知らせします。

記

1 日 時、訪問先及び相手方

(1) 平成20年2月14日(木)

16:30～16:45

防衛大臣

石 破 茂

18:10～18:20

外務大臣

高 村 正 彦

2 当 方 岩国市長 福田 良彦

3 内 容 防衛大臣及び外務大臣等と就任挨拶等を行った。

【防衛大臣訪問における福田市長の発言】

就任の挨拶を行った。

米軍再編問題については、市民の安心・安全についてしっかりと具体的に議論することにより、市民の立場で交渉していきたいと考えている。

ついては、騒音問題等について、協議していきたいのでよろしく願います。

沖縄の事件については、綱紀の保持及び隊員教育の一層の徹底に万全を期すよう米側に強く要請していただきたい。

また、庁舎補助金、民間空港再開についても要請を行った。

海上自衛隊の岩国残留について、特段の配慮をお願いした。

【防衛大臣の発言】

今後、岩国市と緊密に協議していきたい。

米軍再編について、抑止力の維持と日本全体における地元負担の軽減の観点から、是非とも御理解と御協力をお願いしたい。

沖縄における暴行事件については、あってはならないことであり、極めて遺憾。すでに米側への申し入れを行っている。

民間空港再開及び市庁舎補助金については、関係機関との調整も含め検討してまいりたい。

海上自衛隊の岩国残留については、すでに日米間で合意したものであり、現時点においては残留は容易ではないが、市長と話し合いながらやっていく。

いずれにしても、米軍再編について、当省としては、今後、岩国市と緊密に協議し、御理解が得られるよう努力してまいりたい。

別紙(又は裏面)に続く

【外務大臣訪問における福田市長の発言】

（冒頭の就任挨拶に続き、）

米軍再編問題については、市民生活の根幹である安心・安全についてしっかりと具体的に議論することにより、市民の立場で交渉していきたいと考えている。

沖縄の事件については、綱紀肅正と再発防止を大臣からも米側に要請していただきたい。

民間空港再開の早期実現を要望する。

【外務大臣の発言】

外務省として出来ることはしっかり対応していく。

沖縄における暴行被疑事件については、シーファー駐日米大使を外務省に招致し、事件の発生が極めて遺憾である旨伝えるとともに、綱紀肅正、再発防止の徹底を申し入れた。事件の再発防止に向けてきちんと対応する。

民間空港再開については、一生懸命尽力していく。